

## 政務活動報告書（2019年度）

活動事項	5G実現に向けた取組についての総務省担当者との勉強会	
活動年月日	2019年11月12日	
場所	榊屋敬悟衆議院議員事務所（衆議院第1議員会館）	
活動の相手方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎信治 総務省総合通信基盤局電波部移動通信課課長補佐</li> <li>・大塚恵理 総務省総合通信基盤局電波部移動通信課課長補佐</li> </ul>	
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b></p> <p>次世代通信インフラである5Gは、地方の活性化の可能性を広げるSociety5.0の重要な基幹インフラである。ただ5G整備についてはあまり語られていない。今後地方での5G整備の予定、なかでもローカル5Gを使った地域活性化の可能性をさぐる。</p> <p><b>【内容】</b></p> <p>以下のような5Gの意義を学んだ。</p> <p>5G整備により、特に地方のICTインフラの整備が加速され、都市と地方の情報格差のない「Society5.0時代の地方」を実現することができる。</p> <p>5Gの基地局整備は2020年からスタートし、2023年度位には50%以上の10km四方メッシュで5G高度特定基地局が整備される。</p> <p>ただ、5G電波は届く範囲がせいぜい数100mと短く、それだけ多くの基地局建設が必要がネックである。</p> <p>携帯事業者による全国展開の5Gと、地域や産業の個別のニーズにスポット的に構築・活用ができるローカル5Gがあり、ローカル5Gは地域差がなく、2020年からでも構築できる。</p> <p><b>【結果（成果）等】</b></p> <p>全国展開の5Gやローカル5Gを利用して、県内の医療や教育、農林水産業、また生産現場や工事現場での効率化、テレワークなどの進展など、Society5.0に取り組む必要性を痛感し、知事への当初予算要望で、民間も入れた検討会設置等を要望した。その要望が追い風にもなり、令和2年度に検討会「鳥取県Society5.0有識者会議」の設置が決まった。</p>	
関連領収書番号	伝票No.	67

（H01－報告書a）

## 政務活動報告書（2019年度）

活動事項	中国横断自動車道岡山米子線4車線化促進総決起大会参加	
活動年月日	2019年11月12日	
場 所	衆議院第1議員会館 大会議室	
活動の相手方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国横断自動車道岡山米子線4車線化促進期成同盟会</li> <li>・鳥取県</li> </ul>	
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b></p> <p>中国横断自動車道岡山米子線の全線4車線化を国に促すため、総決起大会開催し、参加する。</p> <p><b>【内容】</b></p> <p>鳥取県西部地域は、北東アジアと地理的に近く、環日本海交流の拠点として、国土政策上非常に重要な役割を担っていくポテンシャルを有している地域であり、国内における交流圏の拡大と、海外に向けた更なる発展が期待されている。</p> <p>その中で、中国横断自動車道岡山米子線は、本地域と山陽・四国・関西方面とを結ぶ人流・物流の大動脈として、日本海側では有数の人口66万人を有する中海・宍道湖・大山圏域の産業・経済を支える重要な社会基盤である。</p> <p>地方創生を深化させ、安定した生産活動、地域経済の更なる成長による持続可能な地域社会の構築に向け、関係者一同が総決起し、国に働きかける。</p> <p><b>【結果（成果）等】</b></p> <p>丁度、4車線化が都市計画決定されたところであり、この期に関係国会議員、また来賓として国土交通省関係幹部、NEXCO 西日本幹部も参加されており、十二分なアピールが出来た。</p> <p>今後、速度を増して4車線化が進むと思われる。</p>	
関連領収書番号	伝票No.	67

（H01－報告書b）

## 政務活動報告書（2019年度）

活動事項	赤羽一嘉国土交通大臣要望	
活動年月日	2019年11月12日	
場所	国土交通省 大臣室	
活動の相手方	・赤羽一嘉国土交通大臣	
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b></p> <p>・新任の赤羽一嘉国土交通大臣へ、鳥取県の抱える国土交通課題解決を要望する。</p> <p><b>【内容】</b></p> <p>1、高速道路ネットワークの早期整備の要望</p> <p>①県内高速道路網の早期全面開通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰近畿自動車道（鳥取～福部間、南北線）の早期事業化。</li> <li>・山陰自動車道（北条道路区間）の早期完成。</li> </ul> <p>②県内高速道路の早期4車線化（特に鳥取自動車道、米子自動車道）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に鳥取自動車道と米子自動車道での早期整備。</li> </ul> <p>2、河川氾濫防止対策の推進と予算確保の要望</p> <p>より高いレベルでの河川氾濫対策の策定と、事業の推進と予算確保。</p> <p>3、鳥取県内地方航空路線の維持・拡充の要望</p> <p>①羽田発着の政策コンテスト枠について、鳥取空港への配分を継続すること。</p> <p>②地方航空路線の運賃低廉化につながる施策を講じること。</p> <p><b>【結果（成果）等】</b></p> <p>高速道路ネットワークの早期整備の要望、河川氾濫防止対策の推進と予算確保の要望、鳥取県内地方航空路線の維持・拡充の要望のすべてに対して、その必要性を認識され、対応していく方向性を示された。</p>	
関連領収書番号	伝票No.	67

（H01－報告書c）

## 政務活動報告書（2019年度）

活動事項	山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会 国、国会議員への要望活動	
活動年月日	2019年11月25, 26日	
場所	衆議院議員会館、参議院議員会館、自民党本部、 内閣府、国土交通省、観光庁、文部科学省、環境省	
活動の相手方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月25日 衆議院議員－竹内譲、斉藤鉄夫、濱村進 参議院議員－山本博司、伊藤孝江、谷合正明</li> <li>・ 11月26日 衆議院議員－赤澤亮正、石破茂、谷公一、本田太郎、河村健夫 参議院議員－舞立昇治</li> <li>・ 木下賢志 内閣官房内閣審議官</li> <li>・ 青木一彦 国土交通省副大臣</li> <li>・ 大杉佳子 文部科学省国際戦略企画官</li> <li>・ 尾崎絵美 環境省自然環境局国立公園利用推進室長補佐</li> </ul>	
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b> 国、国会において山陰海岸ジオパーク支援の要望をおこなう。</p> <p><b>【内容】</b> ○要望内容は ①ジオパーク活動を機能的かつ一体的に支援する体制を充実すること ②国内外への認知・PRを十分に行うこと ③広域にわたる地域への対策やアクセスなどを支援すること ④訪日外国人の受入体制を充実すること ⑤首都圏等の国際空港から地方空港を結ぶ観光ルートを整備すること ⑥山陰海岸に並走している鉄道ダイヤの充実を図ること</p> <p><b>【結果（成果）等】</b> 環境省からは、満喫プロジェクトを活用して進める方向が示された。 国土交通省からは、羽田－鳥取便の便数維持に継続して取り組む方向が示された。 内閣府からは、総務省から自治体へ派遣している職員を、ジオパーク関連でも活用してほしいとの話を頂いた。 文部科学省からは、学校現場でジオパーク教材の活用やSDGsに取り組むとの説明を受けた。</p>	
関連領収書番号	伝票No.	66、74～78

（H2－報告書）